

守りたいのは、いのち **NGO SHARE Free Paper** [シェアライフ]

SHARE LIFE



Vol.

11

小さな一歩が海を越える

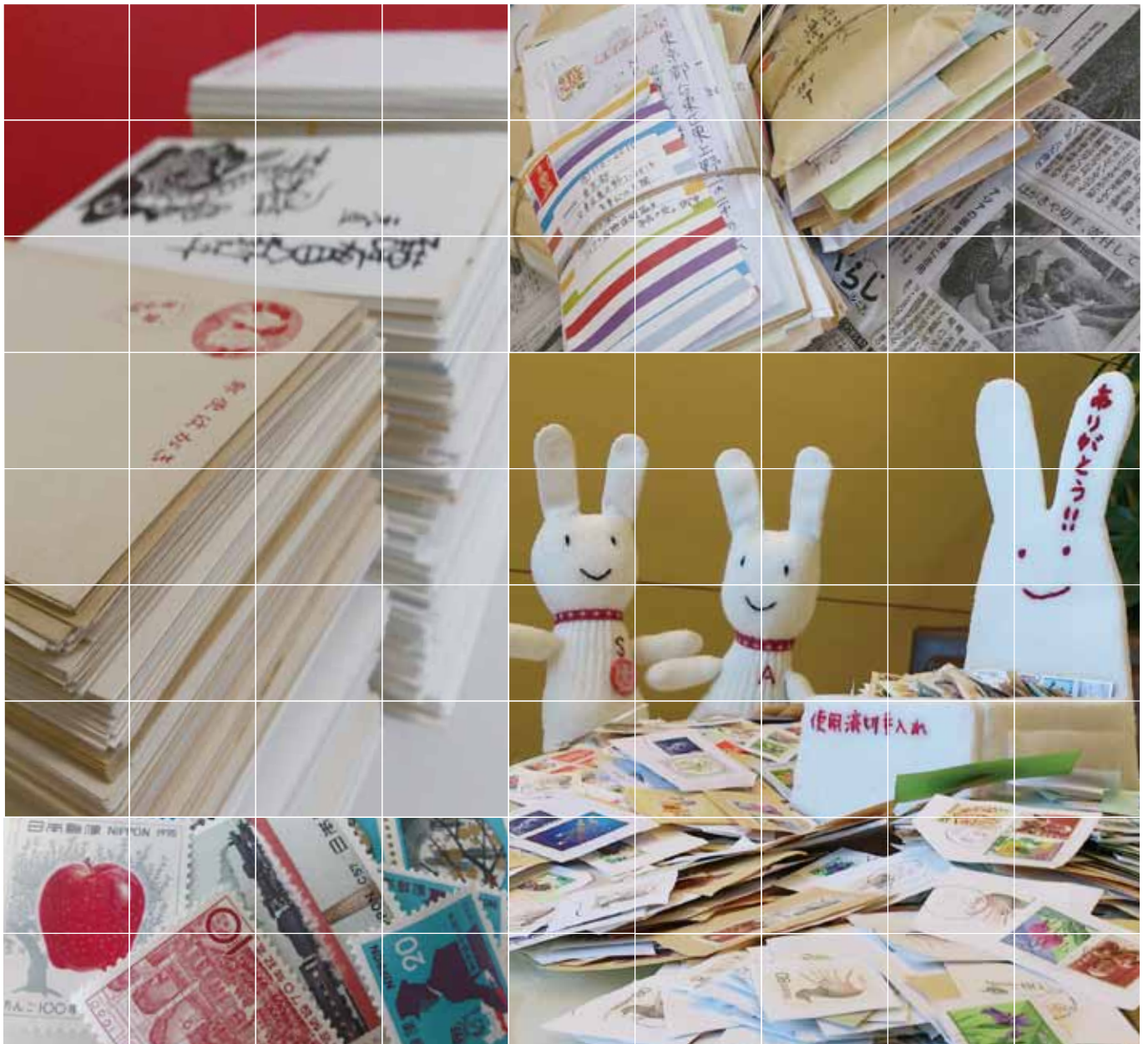
～書き損じハガキから始まる国際協力～



寄付品が支援につながるまでのプロセスを通して、手軽なボランティアの「大きな力」をご紹介します。

SHARE LIFE
contents

シェーちゃん&アーちゃんのちょこっと豆知識 / 私のSHARE LIFE /
take action! ～シェアではじまる、あなたの社会貢献～ / みんなのVoice便 / シェアとは



シェアは、世界中の人々がもっと健康な生活をおくれる社会を目指して、アジアで活動する保健医療専門のNGOです。

書き損じハガキ君の行方

たくさんのご支援ありがとうございます



シェアは、2015年秋のマスコミ取材の波及効果もあり、期待をはるかに超える書き損じハガキや使用済み切手の寄付をいただいています。

たくさんの皆さまがシェアの活動に共感くださいましたこと、心より感謝申し上げます。

今号では、皆さまのお気持ちにお応えするべく、支援品がどのようなプロセスを経て活動支援につながるのか、『寄付の向こう側』をご紹介します。

1. 書き損じハガキ



沢山のハガキたちが集まってきました!

仲間だ!!

2. 収集

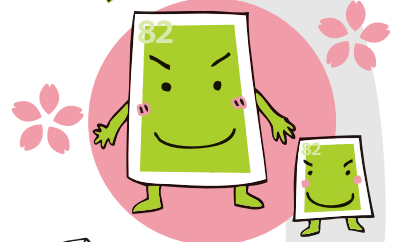
そこで、ボランティアさんたちによって金額別に分けられ、郵便局に運ばれ...

集められているもの



3. 切手になる

ハガキ君は切手に生まれ変わりました!



切手はシェアの郵送物の送料*として使われて



切手で郵送料を節約できた分(2015年は110万円分の切手になりました)は活動資金として生まれ変わりました!

4. 活動資金に!

ハガキ君は活動資金となって、カンボジア、東ティモール、日本で健康を守る活動になりました!



在日外国人の医療電話相談 1日



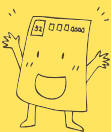
カンボジアの離乳食教室 1回



東ティモールの手洗いステーション 1つ



あなたの家のハガキ君も旅に出よう!



書き損じハガキ募集中!

<http://bit.ly/11scUAP>



*切手を業者の買い取りで現金化した場合、買い取り金額は元の値段の70~80%になってしまいます。送料として使うことで切手の金額そのまま100%を使うことができます。

Vol.10

シェアちゃん&アーちゃんの
ちょこっと豆知識



探検！寄付の向こう側。

世の中に存在するさまざまな「寄付のカタチ」。シェアでも、日頃から支援者の皆さまに多数の寄付をいただいています。今回の豆知識では、その品々が実際にどのように子どもたちの支援につながっているのか。寄付の「向こう側」を探検します。

1 「古着」

の向こう側は・・・

タンスの肥やしを寄付品に変える『ファッションチャリティプロジェクト(=FCP)』。「最新のワンピースが欲しい…。でも、古い洋服を捨てるのは良心が痛む…」という方に最適な「洋服を寄付する」という選択。FCPでは、着払いで届いた皆さまの寄付商品を販売し、売上金額をシェアの活動資金に提供しています。

FASHION CHARITY PROJECT

2 「余り外貨」

の向こう側は・・・

「すぐに利用できる現地活動資金」。世界各国に旅をしているあなた。お財布の中で思い当たるコインやお札が残ったりしていませんか？シェアでは、米ドルの他、インドネシアルピア、カンボジアリエルなどの余り外貨の寄付を集め、活動の資金とさせていただきます。



3 「バザー品」

の向こう側は・・・

その名の通り「バザー」。毎年恒例の江戸川バザーでは、皆さまからの寄付品を商品として販売しています。昭和53年に始まり昨年37回目を迎えた「江戸川区民まつり」の名物コーナー「江戸川バザー」。歴史の分だけ集客力があり、毎回飛ぶような売れ行きです。2015年も販売目標30万円を達成し、全てをシェアの運営資金として活用しています。



「BOOK募金」は、「社会貢献やボランティアをしたい」という気持ちがある方にとって、最もハードルが低いボランティアの一つです。どこかに行くわけでもなく、部屋を片付けるだけで、ボランティアができるのです。古本屋さんで本を売ってお金にするより、募金にしたほうが気持ちがいいです。ボランティアの「初めの一歩」に最適な、「BOOK募金」にぜひチャレンジしてみませんか。(構成・高柳ユミ)

去年の春、シェアのホームページで「BOOK募金」を知りました。読書が好きなのですから、家にはたくさん本があります。家族から「処分するように」と言われていたことも頭をよぎり、よい機会ではと「BOOK募金」に参加しました。家には1,000冊以上の本がありまして、2〜3か月かけて整理しました。最初は「この本は残しておこうか」と処分する決心がなかなかつきませんでした。徐々に思い切りがよくなり、どんどん冊数が増えていきました。合計934冊を処分し、9,293円を寄付できました。いまは、部屋がすっきりしてすがすがしいです。

シェアのことを知ったのは、友人がシェアライフの編集ボランティアをしていることがきっかけでした。その後、だんだんとチャリティイベントの物販や募金集め、シェアライフの発送や編集もお手伝いするようになったのです。



おすすめ！「BOOK募金」
ボランティア 吉原仁

私のSHARE LIFE

Vol.10



去年から会社まで一駅歩くようになり、その後はフィットネスジムに週2〜3回通っています。入社前の1時間や終業後の1時間、走ったり筋トレをしたりしていますね。振り返ってみると、健康に気をつけるようになったのは、シェアでボランティアを始めてから。会社や趣味でのつながりとは違う方たちとの出会いやシェアの活動から、多くを学び、刺激を受けています。

take action! ~シェアではじまる、あなたの社会貢献~

誰でもカンタン、BOOK募金！



ご家庭や職場でご不要なものはございませんか。ご不要になった本、CD、DVD、ゲームソフト等を段ボールに詰めて送るだけで、買い取り価格が全て、シェアの保健医療活動への支援になります。

1.梱包する

- *縦・横・高さの合計170cm以内
- 1箱30kg以内
- *1箱10点から送料無料

2.申し込む

▼電話 (0120-102-150) の場合
WEBにアクセスし、申込書をダウンロード。BOOK募金事務局プレジャーワークスに電話して「シェアのブック募金に申し込みたい」と伝えてください。
受付時間：月～金 10:00～17:00

▼WEB (<http://bookbokin.jp/>) の場合
WEBのフォームからお申し込みください。
受付時間：24時間

3.集荷

宅配業者がご指定の時間帯に引き取りに伺います。(電話の場合は申込書同梱)

4.結果報告

シェアから領収書が届きます。

あなたのもったいないという気持ちが海外や日本で「いのちを守る」活動を支えます。ご協力の程よろしくお願いたします。



BOOK募金

<http://bookbokin.jp/>

仕分けボランティア募集！



皆さまからお送りいただいた書き損じハガキや切手等を仕分けするボランティアさんを募集しております。

【作業内容】

- 1.シェアに届いた封書を開封する
 - 2.送付者名・送付物を記入する
 - 3.ハガキ・使用済み切手・未使用切手等を仕分けする
- *切手の仕分けや台紙に貼る作業中には、国内外から送られてきた珍しいハガキや切手と出会うこともございます。初めての方も、切手コレクターの方もぜひお気軽にご連絡ください。

ボランティア募集中！登録はこちらから

<http://share.or.jp/share/join/volunteer/form.html>



みんなのVoice 便

シェアを支える皆さまからのひとことコーナー
今回は、「書き損じハガキ・切手」をご送付くださった皆さまからの声をお届けします。

12月のメディア掲載の効果で、シェアには現在たくさんの書き損じハガキや使用済み切手の寄付が届いています。丁寧に梱包された封筒の中には、通貨単位が銭の頃の切手や記念切手、ご自身の思い出の品など、温かな気持ちの込められた数々の寄付品が。今回は、実際に皆さまが添えてくださいましたメッセージの一部を通じて、皆さまの寄付に込めた想いをご紹介します。最後になりますが、改めて皆さまからのたくさんのご協力に感謝申し上げます。

- ☑ こんにちは!すばらしい活動ですね!役立てていただけるなんてうれしいです。ほんの少しですが…よろしくお願ひ致します!みなさまのご活躍、心から尊敬し応援しています。
- ☑ お手紙書くのが大好きでしたのに、年を重ねてみると自分が書く分量が見えてまいりました。少しでもお役にたてばと思ひましてお送りします。
- ☑ カリフォルニアの日本語の新聞にて古切手の事を知り今回日本にきたので少しですが送ります。活用して下さい。

- ☑ 10月23日の神戸新聞でアジアの医療支援に活動されている記事を拝見しました。子ども達が手洗いができるようにと…これまで集めてきた古切手を送らせていただきます。
- ☑ 結婚して40年間に集まりました。お使い下さい。
- ☑ 2円切手を貼って使っていた残りのはがきですが、役に立ちますか?(使用しないうちに古くなった。)
- ☑ 平成27年11月23日の「山陽新聞」で切手etcの寄付に関する記事を読みました。たまたま手元に集めていた、使用済みの切手がありましたので少しですが、送らせてもらいます。今後募られるのでしたらためておきます。少しでもお役にたてばうれしいです。
- ☑ 昨日の神戸新聞にて拝読いたしました。アジアの医療支援に活用されるとの事、協力させていただきます。ちょうど主人の遺品整理をしまして、何かお役にたてたらと思ひていましたので…。主人の供養にもなりきつと喜んでる事と思ひます。よろしくお願ひいたします。

- ☑ 11月4日付の新潟日報の記事を見て家にあった書き損じたハガキを送る事になりました。私は高校3年生で、医療系の大学に進むために受験勉強をしています。少しですが、支援事業に役立てて下さい。
- ☑ アジアの医療支援活動の記事を見ました。(長崎新聞)昨年の年賀状の出してない分がありましたので、役にたてればと思ひ、少しですが送ります。又、友人などに、はがき、切手がないか呼びかけて見ます。

幅広い世代の方々、また、日本国内だけではなく海外にお住まいの方からもご協力いただきました。今後も継続して募集中です。古いものから新しいものまで募集しておりますので、ご協力の程よろしくお願ひいたします。



シェアとは

シェアは、保健・医療を中心とした国際協力活動を行っている民間団体(NGO)です。1983年に設立され、現在はカンボジア・東ティモールに看護師などのスタッフを派遣し、地域の人々と協力して健康を守る活動を進めています。国内では、外国人のための出張健康相談会や医療電話相談などにも取り組んでいます。医療関係者だけでなく、学生・主婦・会社員など多くの方々に参加しています。詳しくはウェブサイトをご覧ください。



母子保健 母と子の健康を守る

予防可能な病気で亡くなる子ども達、妊娠・出産が原因で命を落とす母親。そんな命を守るため、村人や医療者へのトレーニングを行います。



医療アクセス いのちの平等を目指す

医療機関にかかることが困難な在日外国人、病院が近くにない途上国の人々。すべての人が医療サービスを受けられるように取り組んでいます。



保健教育 もっと知る・もっと考える

自分たちの健康について知識を持ち、考え、行動するために、住民参加型の保健教育活動を行っています。

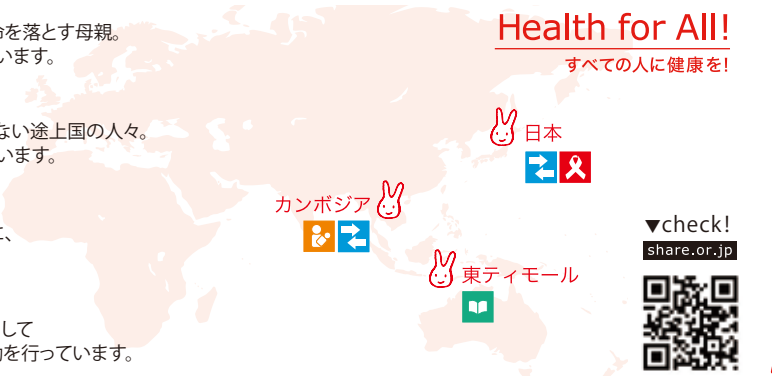


HIV/AIDS エイズに立ち向かう

差別と偏見のない社会、感染の有無に関わらず互いに協力して暮らしていける社会を目指して、普及啓発を中心とした活動を行っています。

Health for All!

すべての人に健康を!

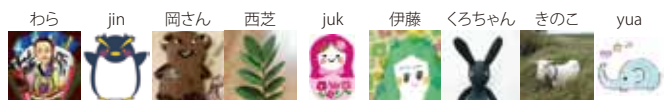


編集
後記



ぼくの活躍、見てくれたかな? ハガキとして使えなくなってしまうけど、まだまだ人の役に立てるなんてステキでしょ? ひと手間でボランティア! 仲間が増えるのを待っています。(ハガキ君)

編集
メンバー



〒110-0015 東京都台東区東上野1-20-6 丸幸ビル5F
TEL 03-5807-7581 FAX 03-3837-2151
E-mail info@share.or.jp URL http://share.or.jp/
facebook share.or.jp Twitter @NGO_SHARE

SHARE LIFE volume011 2016年3月発行
発行人 本田 徹
編集 SHARE LIFE 編集委員会
発行所 (認定) 特定非営利活動法人
シェア=国際保健協力市民の会 (SHARE)
印刷 ベーテルフォト印刷株式会社

※シェアではSHARE LIFEを設置していただける施設・店舗を募集しております。お問い合わせは、メール、お電話にてご連絡よろしくお願ひいたします。

※SHARE LIFEの編集ボランティアを募集しています。デザインが得意な方、ライター・編集経験がある方、カフェや店舗など配布先開拓が得意な方etc.お待ちしております。ご連絡はinfo@share.or.jpまで。



すべての人に健康を! NGOシェア